

2023年2月3日



2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

(2022年4月～2022年12月)

ikomatsumateRe

小松マターレ株式会社

1) 2023年3月期 第3四半期 決算の概要

2) 2023年3月期 業績見通し

2023年3月期第3四半期 決算概要

(単位：百万円)

項 目	2022年3月期 第3四半期実績	2023年3月期 第3四半期実績	増 減	
			金 額	増減率 (%)
売上高	23,082	26,625	3,542	15.3
営業利益	1,137	1,389	253	22.2
経常利益	1,577	1,448	△128	△8.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,619	1,002	△617	△38.1

一株当たり純資産	869.21円	888.72円
一株当たり当期純利益	38.54円	24.94円

期中平均為替 レート	USD	111.14円	136.49円
	EUR	130.60円	140.60円

事業セグメント別業績

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減		2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	22,727	26,273	3,546	15.6	1,116	1,324	209	18.7
衣料ファブリック	15,845	19,305	3,460	21.8	1,190	1,372	183	15.4
資材ファブリック	5,773	5,890	117	2.0				
製品部門	1,109	1,078	△31	△2.8	△74	△48	26	—
その他の事業	355	353	△2	△0.6	21	65	44	209.5
合計	23,082	26,625	3,542	15.3	1,137	1,389	253	22.2

<コメント>

●衣料ファブリック

北米/カジュアルウェア、欧州/ラグジュアリーブランド、中東/民族衣装をはじめとする輸出が牽引。
国内向けも堅調に推移。

●資材ファブリック

リビング及び車輦分野の落ち込みを、生活関連資材と電材にてカバー。

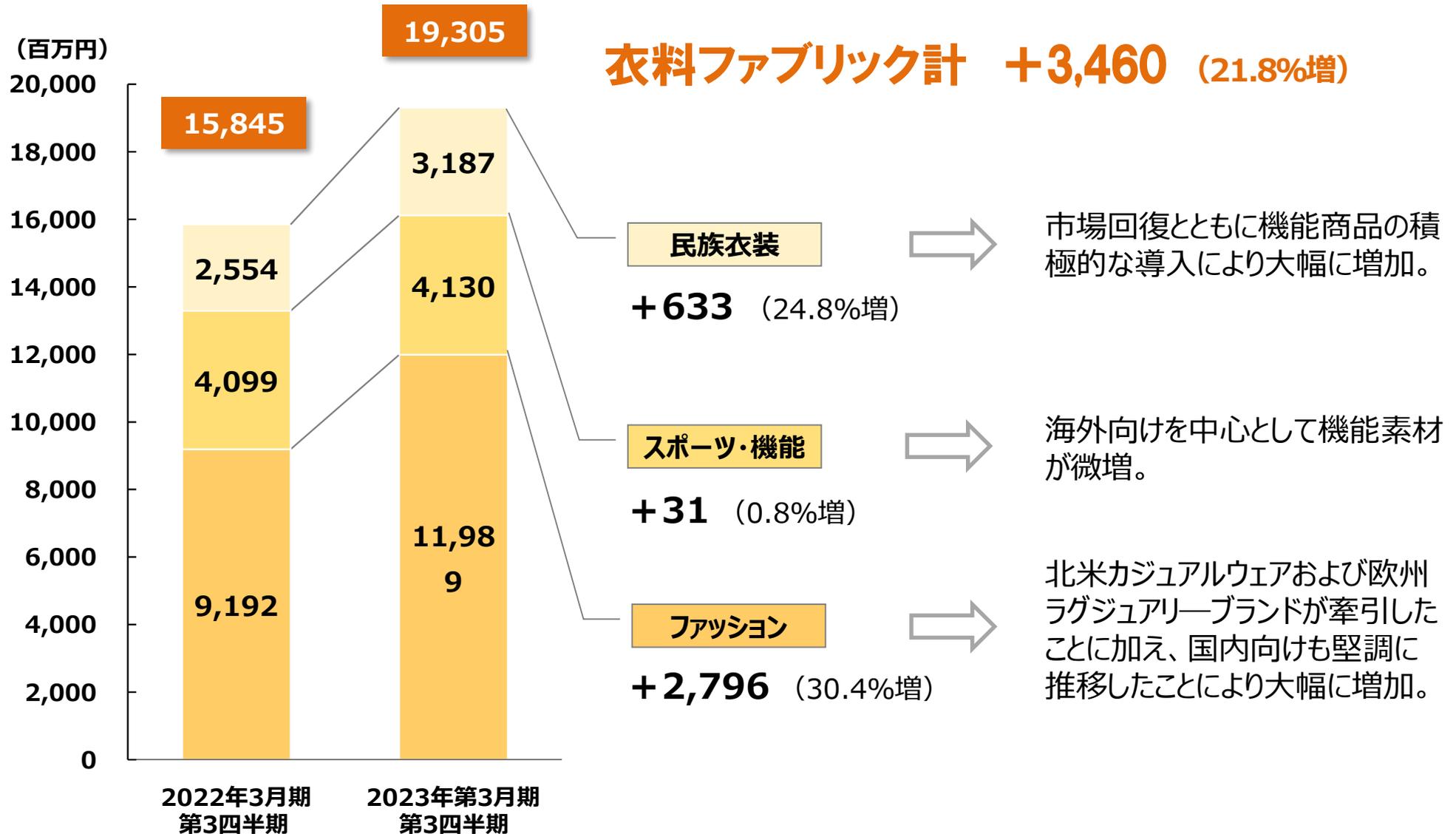
●製品部門

自社製品ブランドの市場への浸透を図るも、衛生関連商品の需要低迷により総じて減少。

繊維事業（衣料ファブリック部門）

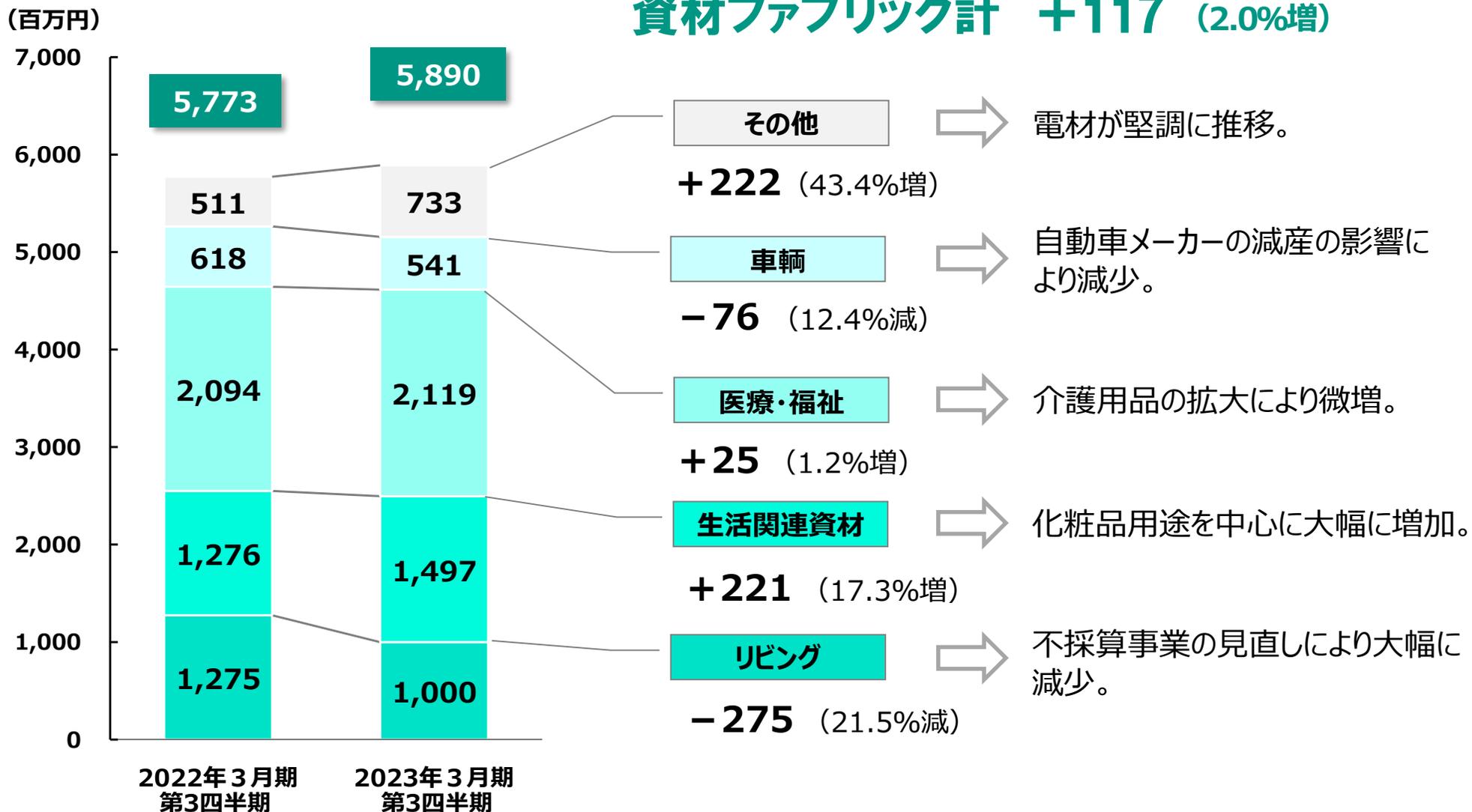
（単位：百万円）

衣料ファブリック計 +3,460 (21.8%増)



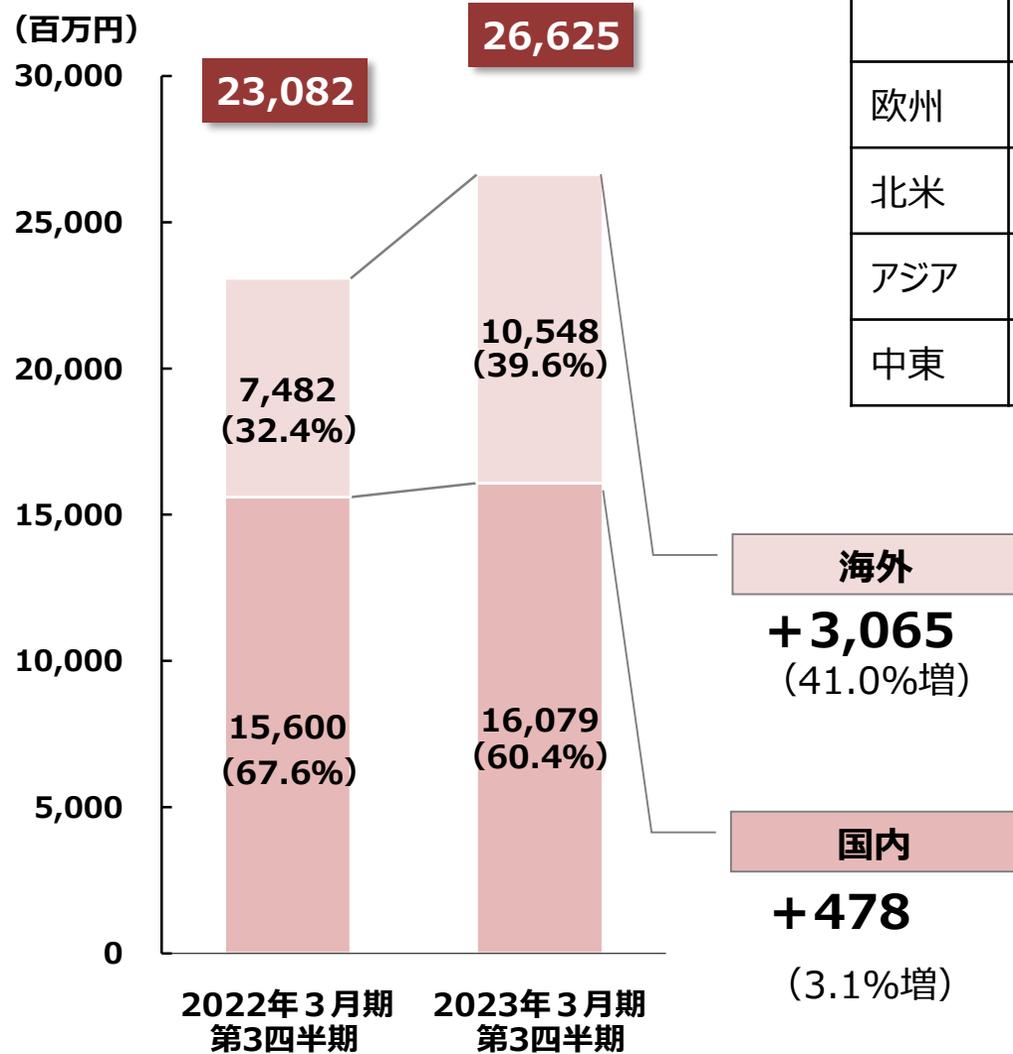
（単位：百万円）

資材ファブリック計 +117 (2.0%増)



市場別売上高（国内・海外）

（単位：百万円）



	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
欧州	2,341	3,348	1,007	43.0
北米	1,571	2,612	1,040	66.2
アジア	1,172	1,530	357	30.5
中東	2,397	3,058	661	27.6

<コメント>

● 海外市場

<欧州> ラグジュアリーブランド向けの受注が順調で大幅に増加。

<北米> 特にカナダ向けのファッション分野が大幅に増加。

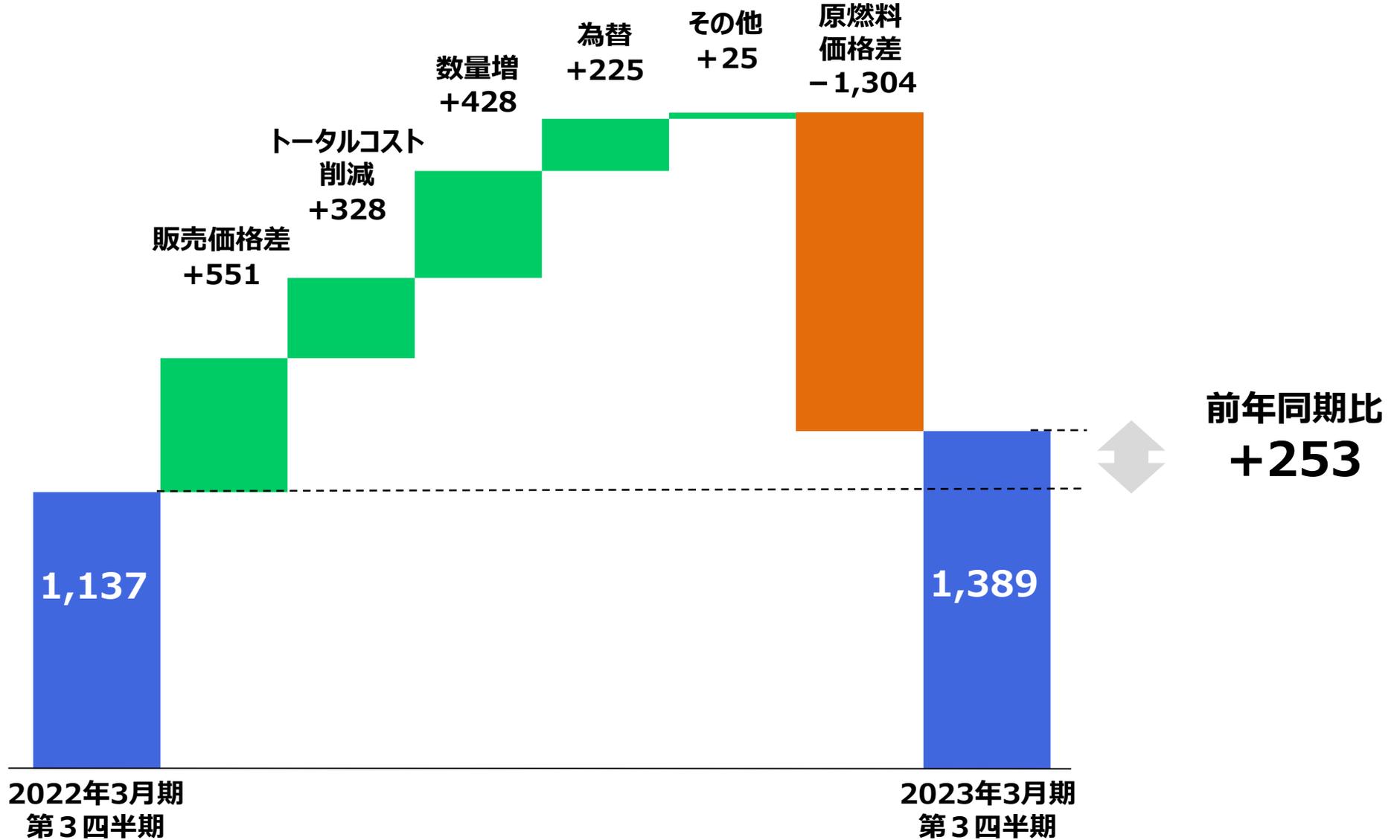
<中東> 市場回復とともに機能商品の積極的な導入により大幅に増加。

● 国内市場

衣料ファブリック向けが増加したことから総じて増加。

営業利益増減分析

(単位：百万円)



1) 2023年3月期 第3四半期
決算の概要

2) 2023年3月期 業績見通し

2023年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

項目	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	増減（通期比較）	
			金額	増減率 (%)
売上高	31,449	34,500	3,051	9.7
営業利益	1,593	1,900	307	19.2
経常利益	2,154	2,500	346	16.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,184	1,850	△334	△15.3

一株当たり当期純利益	52.26円	44.17円
------------	--------	--------

期中平均 為替レート	USD	112.39円	130円
	EUR	130.55円	135円

※当期見通しについては2022年5月10日公表の業績予想から変更ありません。

※期初に想定していた想定レートより円安に進行しているため変更しております。

〔 原燃料・資材価格高騰による
企業コスト上昇対策に注力します 〕

【拡販対策】

- 海外衣料向け輸出(特に北米)の更なる拡大
- 資材(特に車輻分野)の市場拡大

【コスト低減策】

- WS糸®の適用拡大によるコストダウン
- 省エネ投資などによるエネルギーの節減

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。